

教育文化センター跡地の事業予定者決定について

1 公募の実施状況及び事業予定者について

平成29年10月から公募を実施していた教育文化センター跡地（敷地面積：2,647.78㎡）について4件の応募があり、第8・9回横浜市現市庁舎街区等活用事業審査委員会（30年2月20日・23日）において審査が行われ、答申を受領しました。

この答申を踏まえ、「国際的な産学連携」「観光・集客」というテーマに沿って、最も周辺地域を活性化させる提案を行った次の応募者を、**事業予定者として決定**しました。

今後は、事業予定者とも連携して、関内・関外地区の活性化に取り組むとともに、来年度後半の現市庁舎街区の事業者公募に向けて、着実に事業を推進していきます。

事業予定者	学校法人 関東学院 (横浜市金沢区六浦東一丁目50番1号)
-------	----------------------------------

2 事業予定者の提案概要について

(1) 事業コンセプト

市民の知の交流拠点「オープンナレッジポート」の創設

- ・大学、企業、市民、起業家等、国内外の多様な主体が集うインキュベーション拠点
- ・様々な分野での産学連携、2,500名を超える学生の学ぶキャンパス
- ・市民に開放された「知の交流」のための多様なスペース

(2) 施設計画

延床面積：25,221㎡ 高さ：74.9m（地上17階/地下2階）

(3) フロア構成

1階・地下1階	エントランス・ブックカフェ・スポーツ施設等	
2・3階	ホール・ギャラリー	
4階	マッチングオフィス・コワーキングスペース	
5階	デジタル図書室	※ 地下1階～5階は一般利用可能
6～17階	大学	(6階以上も一部利用可能)

(4) 売却価格 2,387,404,090円

(5) 今後のスケジュール（予定）

30年度早期	基本計画協定・土地売買契約の締結
30年7月以降	既存建物の解体・撤去開始
34年4月	開校

<参考：現市庁舎街区等活用事業審査委員会 答申抜粋>

(1) 学校法人関東学院に対する審査講評要旨

- ・本事業の趣旨を深く理解した多様な機能や、外部や地域に開かれた魅力的な場の提供、また、大通り公園をはじめ、周辺に開かれた施設計画等が高く評価されました。
- ・多彩なリソースを活用した大学における地域への新たな展開・周辺地域との連携が高く評価されました。今後、関内・関外地区に新たな賑わいが生まれ、地域の活性化が進むことを期待したいと思います。

(2) 他の応募者の提案（3件）の概要

- 分譲住宅、映画館、カフェ、ギャラリー
- 分譲住宅、ホテル、教育機関、カフェ
- 分譲住宅、賃貸住宅、国際学生寮、ホール、研究機関、コワーキングスペース、カフェ、スポーツクラブ等



左：イメージパース（建物外観）
右上：サンクンガーデン（ブックカフェ）
右下：ホール



地域に開かれた都市型キャンパス